

10月度座談会

聖人御難事

* * 地区

背景と大意

- 弘安2年10月 在身延 58歳
- 対告衆：門下一同（四条金吾）
- 富士で折伏が進み、権力が迫害
- 迫害が熱原の法難へと発展
- 「師子王の心」で迫害に負けるな
- 大難は法華経の真実を証明
- 大難を乗越え偉大な境涯を開け

諸天の守護

法華經受持の人
日蓮・その弟子

諸天が
守護を誓う

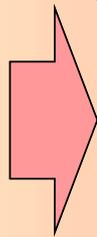
諸天とは宇宙の働き
正しき一念は、社会
・環境をも動かす

依正不二
の原理

諸天の守護は信心による

月月・日に

日々強る
信心修行



信仰は**不断**の
精進行である

人生は**勝利**への戦い
広布は**仏**と**魔**との壮絶な戦い



勝利の要諦は、日々の**精進**
仏を涌現し、**魔**を打ち破れ

たゆむ心・魔

たゆむ心
惰性・油断



第六天の魔王
は惰性に住む

困難に負ける
気持ちが緩む
安心で気を抜く

克服

日々前進
日々挑戦
日々向上

「いよいよの強盛な信心」を続けよ

指導から

- 魔は**惰性・諦め・油断**に付け入る
- 魔の本質は「**奪命者・奪功德者**」
- **戦い続ける人・常に仏界を開いている**人は、魔を寄せ付けない
- **前進**する人は、必ず**偉大な境涯**に

前進ある所に**勝利**あり
弛みなき前進で**絶対勝利**へ